



発行所
群馬県館林市尾曳町6-1
群馬県立館林女子高等学校
同窓会
印刷所
東京広告株式会社



創立百周年の年に
同窓会長 仁田 征子

同窓生の皆様には、お元気で
お過ごしのこととお慶び申
し上げます。

今年も母校の同窓会館の周
りに二千年を記念して植えた
ミレニアム桜が満開となり、
校門と校庭南側のソメイヨシ
ノも入学式に合わせたかのよ
うに見事に咲いてくれました
。花びらが風に舞う様を見
ながら、今年はいよいよ創
立百周年の年になったと改め
て思いました。

館女六十年史を緋いてみま
すと、館女の同窓会活動は、
昭和初期に遡ることができま
す。

当初、創立時からの方針
で、在校生、卒業生を含めた

校友会組織をもつて、親睦・
研修の為の活動を行ってきま
した。しかし、昭和初期頃迄
に約六百余名の卒業生を送り
出しており、昭和三年、加畑
校長（第六代）の時に、多数
の卒業生と在校生が共に活動
することが困難との理由か
ら、個別の活動を進めること
になりました。そして、昭和
三年六月十日、同窓会設立総
会が開催されました。それ
が、在校生と合同で行った最
後の行事となりました。記念
講演として、大江スミエ先生
による「私共は何の為に生き
るか」と題して、有益なお話
を伺ったとあります。

設立当時の同窓会会則によ

りますと、会長は校長先生、

副会長・理事も学校職員でし
た。同窓生は幹事として、各
村から一〜三名の代表を選出
して成り立っていたよう
です。昭和八年四月に会則改正
が行われ、副会長に初めて同
窓生が選ばれました。その
後、何回かの改正を経て、現
在のような体制になりました。

百年という長い歴史の中
で、昔を感じさせるものは、
やはり創立二十周年で建てら
れた同窓会館でしょうか。現
存している会館は、昭和五十
年代に移動・改修され今に至
ります。

また、母校の玄関に飾られ
た石野安親先生の描かれた一
枚の油絵。昭和十八年に描か
れたもので、激動の世の中に
あってもそこに描かれた女学
生の凛とした姿。真面目に作
業に取り組み姿。まさに、館



着任のご挨拶

校長 高橋 博

女生を思わせる姿です。同窓
生の先輩方が築いてこられた
校風が百年の歴史の中で脈々
と息づいていることを感じさ
せてくれます。同窓生の皆様
も是非、母校に足を運んでい

ただき、館女の風を感じて戴
けたらと思います。
これからも母校と同窓会が
益々発展しますように、また
同窓生の皆様のご多幸とご健
康をご祈念申し上げます。

このたびの人事異動により
歴史と伝統ある館林女子高等
学校に着任しました校長の高
橋博です。よろしくお願ひ申し
上げます。私にとつて、館女に
着任したことは、初めての魅力
ある外国を訪れるようなうれ
しさとともに、重責を担う責任
の重さに身の引き締まる思い
でいっぱいであるところです。
前任の金子校長とは対照的に、
私の教師生活において女子校
は初めての経験であり、まずは
今まで以上に着こなすに気を
つけて、と自分に言い聞かせて
勤務のスタートを切りました。
校長室からみる中庭の佇まい
は、木々の配置や石塔の趣が実
によく、何とも心が和む景色で
す。新任式・始業式において、

館女生は明るく礼儀正しい生
徒ばかりで、良き伝統を受け継
いでいると感じられる雰囲気
でした。校長室に飾ってある歴
代校長三十五名の肖像写真全
部が校長席を優しい眼差しで
見つめてくれており、それぞれ
の在職していた時代に様々な
出来事があり、館女の歴史を作
ってきた方々である、と毎日見
上げております。私の恩師や過
去と一緒に勤務した同僚など
既知の方もおり、ここ館女に転
任したのは何か深い縁があつ
てのことではないか、と感じて
おります。
私はまだ若かりし頃、館林高
校に勤務しておりました。当時
の館高は普通科と商業科が併
設された一学年七クラスの男

子校でした。その数年後に館林商工高校が開校し、館高の商業科は閉科となり、一学年普通科七クラスの高校となりました。赴任した当時、すでに館高五十キロ強歩大会が何度となく開催され軌道に乗っておりまして。まだ若くて体を動かすのが好きで、体育の先生の中に私の恩師がいたこともあって、強歩大会のチーフだった体育の先生に指名されて看板立てや杭打ちに出かけたものでした。関門でのチェックや最後尾歩行を担当し、いくつかの区間を歩いたりしました。最後の関門は距離にしてスタート地点から四十キロを超えていたらしく、ここを制限時間ぎりぎりを通過する生徒諸君は疲労困ぱいの様子で、「もう少しだぞ、がんばれ。」と声をかけると、「そんなことは分かっている。もうずっとがんばってきているんだ。」と言わんばかりの表情で訴えてくると聞きました。強歩で得られる忍耐力がまさに養成されている時間帯だったのかもしれない。まもなくして館女も強歩大会が始まったと記憶しています。

そして当時、私は館高山岳部

の顧問(三人)の一人として生徒と一緒に登山へ出かけました。夏山合宿では五泊六日で東北の飯豊(いいで)連峰を縦走し、貴重な経験をしました。飯豊連峰は豪雪地帯に位置し、北から南に約二十キロメートルの山脈を形成しており、主峰で二千米メートルを超える大日岳を筆頭に峰々が幾重にも連なり、北アルプスよりも標高は低いのですが緯度が高い分、夏でも雪渓があちこちにあります。稜線は森林限界を超えているため背の高い木は全くなく、彼方まで残雪の残る雄大な山々の景色が臨めました。連峰という名の通り山は深く、縦走するには泊を伴う装備が必要で、途中の頂には、この山で遭難した先人の慰霊碑が建っていました。顧問の一人が生物の専門家で、ミジンコの研究をしていたこともあり、稜線の脇にあった池塘状の小さな池をミジンコ探しのために一緒に覗き込んだところ、生まれて初めて目の前に山椒魚が現れました。何とも感激、まさに疲れを忘れた瞬間でした。そして、下山して小川の流れる山麓で最後の一泊をしたとき、テント場近くの藪

の中で、いくつかの光が漂っていました。これも初めて見る光景で、何だろうと思っていたところ、先ほどの生物専門の顧問が、蛍であることを教えてくれました。初めて生で見える蛍(の光)でした。今でこそ、各地で蛍を見る会が開催され、比較的近くで蛍を見ることが出来ますが、三十数年前は蛍を見る機会が、私の周りにはありませんでした。昔からの自然が残る山麓だからこそ、自生した蛍の光を見ることができたと感激したものでした。翌年の夏山予備合宿は、一泊で日光の女峰山での訓練でした。このとき、館女の山岳部と一緒にしました。館女の顧問とも親交があり、同じ日に女峰山に登ることは聞いていました。館女はOGが数名参加しており、現役生と一体となってチームワークよく行動していました。山に登るといつも感じることはありません。それは、日頃の下界での生活は何と贅沢をしていることか、と。暑いときは冷たい飲み物がすぐに手に入り、布団の中で心地よく眠りにつき、移動は車。山では自分の足しか移動手段がなく、シュラフ(寝袋)での寝

心地は快適からは遠い状態です。でも、山に登っていると「いま、生きている。」と常に感じます。歩いて次の幕営地まで移動することが日々の主要な目的であり、歩いているときの疲れや目に飛び込んでくる風景が、「いま」を実感させる要因なのでしょう。そして、「いま」を実感することは、日頃のストレスの発散にも役に立つようです。

館女には、数学の担当として何度かお邪魔したことがありました。数学教師の研修として、

.....



ごあいさつ

教頭 中島 洋明

平成二十八年度末の人事異動により教頭として着任いたしました。本校二度目、三年

とは百周年を飾る言葉として言い得て妙です。

ぶりの勤務は、うれしいことに桜花に包まれて始まりました。そして、生徒の素直で明るい表情と元気な挨拶に迎えられ、館女生の素晴らしさを再発見すると同時に、本校の歴史と伝統を垣間見た気持ちになりました。「可憐な館女」

さて、十一月に記念式典を挙げる百周年記念事業については、本校卒業生のマンドリン奏者・榊川千明氏の演奏と箏奏者・野坂操壽先生と沢井一恵先生による琴の演奏、記念誌の編纂、オルゴール付アクセサリーボックスの記念品、本校を象徴する行事や部

活動の動画の撮影など、準備は着実に進められており、周年事業恒例の人文字の空撮を加えるとほぼ整うとのことです。私たち新任者も事業の成功に向けてしっかり取り組みたいと思います。

ところで、学校の柱は何と云っても教育活動の充実です。生徒に寄り添いながら共通理解を大切に取り組まれる生徒指導、生徒の進路実現のために丁寧で工夫された学習指導と進路指導、館女通信やホームページ・ポスター等広報活動の充実など、本校の取組はより完成度を高めつつあると感じます。百周年に当たり、学校の幹の部分が確実な成長を遂げていることにも注目したいものです。そして、

こうした取組の継続こそが学校の背筋をピンと伸ばし、次の一歩を踏み出す原動力になるのではないのでしょうか。

不易流行という言葉があります。情報化とグローバル化の進展、少子高齢化の進行など社会の変化は加速度を増してきています。このような中で、本校にとつての不易とは何か、流行として吹き込むべき新風は何か。大きすぎるテーマではありませんが、百年という節目だからこそ改めて考えてみたいと思っています。今後、同窓会・同窓生の皆様には大変お世話になります。が、ご指導とご協力のほどよろしくお願いいたします。



同窓会 退任のあいさつ 第35代校長 金子弘幸

この度、校長としての二年間の職務を終えることになりました。仁田会長様をはじめ、本部役員の皆様には大変お世話になりました。お陰様で楽

しく、恙無く、有意義な日々を過ごさせていただきました。心より感謝申し上げます。振り返りますと、昭和五十八年四月より、十年間の英語

教師としての勤務の間に、多くの同窓会の方々との出逢いがありました。そして二十三年間の空白を経て、また本校にお世話になること自体が、運命的なご縁を感じずにはおられません。

校長職としての勤務も、若い頃の十年間が基盤にありましたので、学校運営に迷うことはありませんでした。また、式辞等で生徒に話をする場合でも、館女生の純粋で素直な氣質を認識しておりましたので、式辞内容の選択でも困ることもありませんでした。さらには多くの教え子が保護者になっておられ、人と人との絆の大切さ、ありがたさも実感することができました。

同窓生が「同じ窓を見て生きた者」という意味で捉えられるならば、職員も同窓生であり、途中で本校を去った生徒も同窓生という認識になると思います。

一般の生徒は三年間の高校生活ですが、私はその四倍の十二年間館女にお世話になりました。体感時間の観点から見ますと、この十二年間の年月は、実質的には私の人生の

三分の一くらい重みがあるような気がしています。私を育ててくれた館林女子

高校に心から感謝し、本校の末永い繁栄を祈り、退任のあいさつとさせていただきます。



館女で過ごした二年間

前教頭 長谷川 充

年度末の人事異動で館女を去ることになりました。思えば二年前、初めての女子校勤務と言うことで期待と不安を抱きながら赴任した日が昨日のことのように想い出されます。新任式・始業式も体育館にいらしたのは女子生徒のみで、同窓会の役員の方も女性しかいない。あたりまえのことですがとても新鮮に感じられました。

まず新生歓迎会での吹奏

楽部、マンドリンギター部、箏曲部の演奏に感銘を受けました。文化部発表会ではこの三部に加えて演劇部の発表もありました。開校記念式典・記念講演会では、平成二十七年度は、画家の大山恵美子氏を講師に迎えて「私のパリ時代」と題する講演、平成二十八年度は、劇団グスタフの女

優として活躍している渡邊幸希氏を講師に迎え、一人芝居「妹の着物」、講演「挫折とチャンス」を聞かせていただきました。女子校というのは、音楽、美術、舞台など芸術活動が盛んであり、国内外で活躍している人が多いことが改めて分かりました。そうかと思つと、強歩大会、マラソン大会では、辛いことでも笑顔でやつてのける本当の意味での強さを感じました。

同窓会活動では総会並びにティーパーティーに参加させていただきました。特に昨年の総会では箏曲部の演奏について同窓会の皆さんの演奏を聴き、優雅な気分になりました。毎年恒例となっている観劇会も一度も参加することはできませんでしたが、意義深い企画と感じました。館女で

過ごした二年間はとても心地よく楽しい時間でした。本当にお世話になりました。

今年度はいよいよ創立百周年を迎えます。百周年を前に館女を去らなければならぬことは残念ですが、館女で過ごした二年間は私にとって宝物です。館林女子高校のますますの発展、同窓会員の皆様のご多幸を心から祈念いたします。

同窓会会員名簿、発行される!!

平成二十九年四月二十日、「創立一〇〇周年記念 同窓会会員名簿」が発行されました。淡い紫色の表紙に昭和四十年卒業生の書道家・佐藤みち子様
の表題と母校美術講師の大隅孝夫先生の中庭の絵が描かれています。同窓の方々の絆となる事を願っています。



同窓会定期総会開かれる

平成二十八年六月十一日、館林市文化会館明日香の間に
おいて定期総会が開催されました。
クラス会を行う前に初めて参加して下さった方、毎年
お友達と参加して下さった方、思い思いにテーブルごと
に話しが弾み、同窓生の方々と校歌を歌い、和やかなうち
に閉会となりました。
今年はお二人の方に原稿を書いていただきました。総
会をきっかけに旧交を温めたことや、日頃の活動のことな
どを書いてくださいました。

女子高同窓会にて!

浅見 美恵子(昭41年度卒)
平成二十八年六月十一日(土)
館林女子高校「同窓会」の総会
に便乗して、昭和四十四年度卒
業の仲間たちに声をかけ、総会
に参加してから私たちの同窓
会を開きました。



昭和44年度卒業生
後列右 浅見さん(寄稿者)

みんな初めて総会に出る人ばかりでした。お誘いの手紙を

出した三ヶ月前に「妻はなくなりました。」と、ご主人からの

報告があった方、またご主人を突然死で亡くされた方、足の股関節の手術をし歩くのがやっとの方、たくさん人間模様が見出しされ、遠くは千葉県・幕張・浦和・東京から足を運んでくださいました。様々な事情を抱えながらもそれでも仲間会いたいと参加してくださいました。そんな仲間に感謝！感謝！です。

総会の最大の楽しみは、後輩館女生の演奏です。今年はマンドリン・ギター部でした。素晴らしい音色とともに子ども達の緊張と笑顔が伝わってきて、みんなとても喜んでおりました。

平成29年度 行事予定

平成29年	4月10日(月)	入学式
		第1回 本部役員会(総会・創立百周年事業について)
	5月14日(金)	開校記念日
	5月19日(金)	第2回 本部役員会(総会・文化祭について)
	6月初旬	関東・全国大会出場後援
	6月3日(土)	定期総会・ティーパーティー・会報発行
	6月中旬	第3回 本部役員会(文化祭について)
	7月7日・8日(金・土)	文化祭(友誼祭)
	7月下旬	全国大会出場後援
	9月中旬	第4回 本部役員会(創立百周年について)
	11月17日(金)	創立百周年開校記念式典及び演奏会
平成30年	1月初旬	第5回 本部役員会(同窓会入会式・今後の予定について)
	2月28日(水)	同窓会入会式
	3月1日(木)	卒業式

*各部活動の定期演奏会・発表会・作品展等への後援につきましても、今年度も例年通り補助いたします。

「同窓会」という活動を知らない人もいましたが、今回の事をきっかけに、毎年懐かしい仲間会える機会として出席したいとの声をいただきました。そんな中、走馬灯のように思い出される昔話に花が咲き、女子高時代に戻ったかのように、話が尽きなかったです。「恋話」「失敗談」「恩師の事」！そしてお腹がちぎれるほど笑いました。アー！高校時代を一緒に過



昭和44年度卒業生

ごした仲間の繋がりがや絆は決して切れるものではないのだと再確認いたしました。現在、若者が人と人との繋が

りを避けたがっている様に思われます。人は、他人との関わりなしに生きられません。人との関わりは、面倒なことが多いのも事実です。誉めてくれる人がいて嬉しいし、楽しいのです。そして、叱ってくれる人がいて成長するのです。だから、面白いのです。そして、何を変えたいかもっと上手くできるのかを考え、悩み、知恵を絞ることは、厄介なことを避けて通ることより価値のあることだと感じるので。

今回の総会に関わって、仲間の繋がりが絆がいかに人生に華を持たせてくれるのかを実感いたしました。生き生きとしている仲間や自分がそこにいることを忘れないでいようと思えます。

みなさんも、昔の仲間に見えるきつかけに、女子高の「同窓会」を利用してみてはいかがでしょう。多くの人が素晴らしい人生の華を咲かせてくれることを願っています。

私の考えていること

石 村 澄 江 (昭31年度卒)

七月十五日付けの「館林広報」が読みたくて、市役所に行った

ついでにロビーで広報を捜したが、一日付けのものきりなかつた。考えて見たらその日は十四日だったから、十五日付けのものは発行されてなくて当然であった。しかたなく「扉を開こう」No.36を一枚引き抜いてきた。帰宅して目を通してみると、特集記事として「学校教育における男女共同参画―館林女子高校の取り組み―」というのがあった。

内容は校長先生の育メン料理だった。金子弘幸校長が、自慢のメニュー料理教室の授業すべてを英語でやったというもの。料理と英語と男女共同参画が一度に学べた楽しい講座だったというのだ。そんな校長先生を頂く館林女子高の同窓会が、六月十一日、館林市文化会館(明日香の間)で開かれた。総勢一〇七名の出席で盛大に開催された。

私は仁田会長に誘われて出てみた。そこで、原稿依頼をされてしまった。特記するようないくつかもなくつつがなく例年通り総会は無事終了した。

折角の機会でもあるので一同窓生として私見を述べさせていただきます。この役目を降り

たいと考えた。実は昨年度、私は二十回講演をこなし、この原稿を書いている七月は四回の講演依頼が入っている。多忙な人ほど用事を頼まれるというから、正にその通りである。そして、原稿は七月十五日頃までという約束であったが、間に合うはずもなく、末日まで引き伸ばしてもらった。

私の話す講演内容は、ふるさと上州・群馬の女性を取り上げることが多い。自分が女性だからということ、かつて女は虐げられていて能力があつても陽の目を見ることがなかった。社会に立派な仕事を残しているにも拘わらず埋もれている女性が多かった。だから私はそんな女性に光を当てて世に蘇らせること。これが私の務めであると思つて長い間調査研究をしてきた。そのようにして発掘した女性に光を当て、書いて発表していく、これが現在の私の仕事である。

掘り起こして話すだけではいつか消えて無くなる。書き残すこと、活字に著すこと、これが最も大事なことで、掘り起こし執筆し書物に残す。これで確実に後世に伝えられて行くこ

とになる。かくして月刊誌は一〇〇冊以上、単行本は七冊執筆、発刊した。ほとんどが歴史物だ。それでもほとんど知る人はなくて、書くことはそんな地味な仕事なのだ。

館林女子高校同窓生のなかで、目立たずこつこつと、地面に這いつくばるように生きながら、後世につながる仕事をしている人間がいること、この機会に是非知ってもらえれば、

多忙な中、原稿を書いた意味もあろうというものだろう。そして、この頃漸くにして知名度もアップ、講演依頼も舞い込むようになった。

当年七十八歳なり。老若女子高校同窓生の皆さん、どんな世界でも信念を持ってコツコツ学んで行けば、いつか誰かの目に触れるときが必ずくるといふ証にならないだろうか。そんな思いを込めながら擱筆する。

**齋藤英一先生の絵
母校に寄贈される!!**

平成二十八年十二月十九日、母校で美術の教師をされていた齋藤英一先生のご遺族から六枚の絵を寄贈して頂きました。先生は、昭和二十八年から五十四年までの二十六年間館林女子高校で美術を教えて下さいました。私も先生にご指導して頂きましたが、いつも穏やかで笑顔の優しい先生でした。六枚の絵を見た時に「先生らしい素敵な絵だな。」と思えました。先生の絵は、母校に展示されています。同窓生には、是非、足を運んでご覧になって頂きたいと思えます。



「パラソルの女」



「ガクアジサイ」

(記 島田)

観劇会はミニクラス会

平成二十八年十月一日 劇団四季「秋」劇場

近藤 緑 (昭36年度卒)

先ず館女創立百周年を、心からお祝い申し上げます。

女子教育百年という長い歲月の中で、学業だけでなく、豊かな感性の育成を願ってか、私の在学中にも文化芸能鑑賞会などが、毎年実施されました。間近に著名な演奏家や文化人の講演を聴け、感動したことが今でも懐かしく思い出されます。

同窓会活動に、観劇会が長く継承されていますのも、その趣旨が反映されているのでしょう。企画運営を担当下さっている役員の皆様には、深く感謝申し上げます。

私の観劇会参加は、十数年前のクラス会での話題で、「館女は毎年観劇会をやっているようにだけ、私達も参加したいわね」という事が始まりでした。

旧三年二組(担任横山光信先生)は、卒業後五年毎にクラス会を開催してきました。六十代に入ってから三年毎

に早まり、二十名前後が集います。前は横浜方面の人達が幹事役で、港横浜を満喫しました。次回(平成二十九年)は館林方面。五月中旬にバラ園にて開催との事です。

その中で、約半数が毎年秋の観劇会に参加、「ミニクラス会」と称して集まります。幹事役がスムーズに決まりますのも、これまでの積み重ねが有るからでしょう。連絡し合ったり、集まって相談したりする事も、楽しみとして交流を続けて来たと思います。

さて、今回の公演は、劇団四季のミュージカル「マンマ・ミーア」でした。劇団四季といえば、歌唱力、ダンス、演技力が優れ、パワー溢れる舞台上に魅了されると定評があります。

この演目は、七十年代にポップミュージックで一世を風靡したスウェーデンの男女四人組「ABBA(アバ)」のヒット曲で綴られたミュージカル

です。

近年では、アメリカの名女優メリル・ストリープ主演でミュージカル映画版として、多くの人が、「マンマ・ミーア!」を堪能したと思います。私もその内の一人でした。

エーゲ海に浮かぶ小島で繰り広げられるロマンチック・コメディは、美しい風景とABBAの曲が印象的でした。劇団四季の舞台も、期待通りのチーム力で見事でした。

物語は、島で小さなホテルを営む母親ドナの一人娘ソフィが、母に内緒で、父親とおぼしき三人の男性に招待状を出した事からの結婚式前日と当日の二日間の顛末です。ソフィ役は、期待と不安を若々しく、伸びやかに歌い、踊りました。三人の男性役は、誰が父親なのか、ソフィが迷うのと同じように、観ている私も迷う個性豊かな役者の演技。母ドナも、若い頃の女友達二人を招待して登壇。

三人は、昔ロックバンドを組んでいた女性トリオでした。陽気なサウンドが、昔にタイムスリップして躍動します。この場面での曲が、ABBA

Aの最大のヒット曲といわれている「ダンシング・クイーン」です。この曲を聴くと、ディスクで踊った経験などない私でさえ、体が自然にウキウキと乗ってしまいます。

ドナが昔の恋人達の出現に歌う「マンマ・ミーア!」は、タイトルにもなっている曲ですが、いかにも「なんと、まあ!」と驚く、ポップ調の切れのいい曲で、「マンマ・ミーア!」と、一緒に口ずさんでしまふ程、繰り返されます。

ソフィの結婚式当日。ドナは、娘の気持ちを理解し、娘の父親とも誤解がとけ、愛を取り戻します。他の男性も女友達もそれぞれ……。

ソフィの結婚式。ハッピーウエディングとなります。祝福された若い二人は手を取り合って新しい旅立ち。幕が下ります。ここからです! このミュージカルの「名物」といわれているカーテンコールです。「ダンシング・クイーン」の曲に乗って、全ての登場人物が歌いながら、踊りながら登場します。客席も総立ちになります。ペンライトを振る人

もいます。さて、館女同窓会席の私達。初めは戸惑いもありましたが、ほとんどの方が立ち上がり、ディスクタイムに。歳を忘れて。

劇団四季での観劇会では、素敵な時間と元気を頂きました。

劇場ロビーで再集合。バス利用の二人を見送り、現地集合の十名で、食事会場へと向かいました。皆、まだ「ダンシング・クイーン」の余韻が残っているのか、お喋りも足取りも軽やかです。

途中、「旧芝離宮恩賜庭園」に立ち寄り、江戸大名屋敷の回遊式庭園を散策しました。

観劇後の行程を、いつも下見までして案内して下さいる友には、皆、感謝しています。

食事の合間のお喋りでは、若い頃にディスクで踊ったという友の話もとび出しました。館女での最終学年を、たまに一緒に学んだ縁で、長い年月楽しい時間を共有してまいりました。これからも健康に気をつけ、出来るだけ長く交流を続けたいと願っております。

「第四回卒同窓会（五月会）を開いて

樽見千代子（昭26年度卒）

終戦の翌年の昭和二十一年四月、当時、館林高等女学校へ入学、貧しい環境の中、一生懸命、勉強に運動に励みました。先生方の中には東京から疎開で移っておいでの方も多く、かなり専門的な先生のご指導も頂く事が出来ました。そして三年生も終わりに近づいたころ、学校制度改革が実施され、その時点で、新制中学卒業となってしまい、もともと四年で卒業のつもりで入学した私達の学年は、四年



館女同窓会（五月会） 平成28年5月14日

目に高校一年という事になり、全員が戸惑い、中学分をやめた方、高校一年をやめた方、高校二年をやめた方、六年間学んで初めて高校卒業証書を頂いた方、又新しく邑楽館林の中学又は県外の中学を卒業して、新しく高校へ入学した方々が三分の一位おり、大変複雑なクラス編成でしたが、一緒に勉強して行くうちに、自然と和気藹々の雰囲気になり、何の違和感もなく親しくなり、勉強に運動に励んだものでした。

同窓会も何回か続けて来ましたが、今年中には全員が八十三才を迎えるわけですが、出席者二十六名は全員元気で、まるで女学生の時の様な雰囲気、蘇り、旧交を温め合い、それぞれの近況を語り合い、時間の経つのも忘れる程でした。

その中には、長い間、社会奉仕等で国で認められて、叙勲を拝受した方が四名程出て、全員で功績を讃え、祝杯をあげました。

— 恩師を訪ねて —

平成二十八年十二月十日（土）恩師の佐竹先生を訪ねて、ソフ トテニス部OGと和田先生の八人で千葉の御宿まで行って来ました。さわやかな青空の下、九十二歳の先生の笑顔に会ってききました。その時のことを代表して原稿を書いたいただきました。

「佐竹先生を訪ねて」

橋本夏生（昭46年度卒）

館女を卒業してから何度かテニス部の集まりがあり、先生にお会いしましたが、それ以来三十年ぶりになるでしょうか。先生の住んで居られるのはどんな所

欠席の方の理由には、本人が体調を崩しているとの事が一番多く、次には夫の介護やその他家族の介護等でした。

出席者二十六名も、二十六通りの人生をしっかりと歩んでこられ、元気で東京都や千葉県、埼玉県、栃木県そして群馬県と、遠い所からの出席に、地元の方として感謝でいっぱいでした。

最後に女子校校歌を合唱し、今後も身体の続く限り集まりたいとの希望が多く、再会を約束し散会しました。

か。」と言うと「金井だろう。」とすぐに返事があり、感激に思わず先生へと手を伸ばしていました。先生のお部屋で二時間近くおしゃべりをし、先生の記憶力の良さに驚かされました。とても楽しい時間でした。

前年、奥様を亡くされ、その後、ご自身も入院したりと人生の晩年に辛いことを経験され、とても心配していました。先生に、少しでも元気になっていただけたらと思うながら帰路につきました。



前列右 橋本さん（寄稿者）

無事、到着。立派な建物と広いロビー、そこに飾られたクリスマスツリー、その奥にシルバーカーを押す先生のお姿が目飛び込んできました。少し、腰は曲がっておられました。紛れもない佐竹先生でした。その穏やかなお顔と優しい眼差しは昔と少しも変わっていませんでした。

「先生、ご無沙汰しております。私のことわかります

「館女のテニスコートで私を育ててくれたもの」

古川 由喜子 (昭50年度卒)

授業終了後、チャイムの音とともに、テニスコートへダッシュする私達部員。丸い眼鏡に白ハンチング帽、白いトレパン姿の佐竹先生と、顧問の先生方に、あたたかくご指導いただいたの三年間は、何ものにも替えがたい宝物として、心に刻まれています。

盆も正月も無い程の熱中ぶりで、インターハイ目指して、上気した頭に水をかけ、集中力が途切れないように先輩方の背中を追い続けました。雨後のテニスコートでは、大きなスポンジで水を吸い取り、ローラーをひいてのコート整備をしました。合宿時は、早朝より夜遅くまでの練習を行い、更に数学を佐竹先生に見ていただきました。(成績面は覚えていませんけど...) 館女で過ごした月日、時こそが、現在の私を支えてくれる原動力と言えるかも知れません。卒業後は、専門分野を学び、就職、結婚をして、愛知県春日井市に居住しています。以

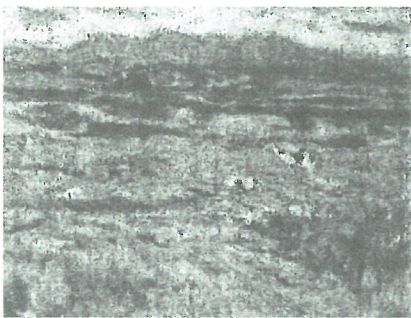
来、仕事と家庭、育児、介護等の全ての経験を積み重ね頑張ってきたのも、テニスで精神力、体力の両方に力をつけてもらったお陰だと思えます。

今も、一日二十四時間におさまらないような日常生活の中で、ふっと立ちどまり、テニスコートへ心が向かいます。朝、夕のコート整備は、掃除洗濯に通じ、基本練習を怠らない努力は、家事にも仕事面にも言えること。試合に臨むとき、精一杯努力を重ねて今ここに立っているのだと、平常心を失わないようにと... 難しい問題に遇ったときに思い起こしています。汗も涙も反省も、黙って吸い取ってくれたテニスコート! 館女が今年も百歳をむかえるのですね!!

少し前になりますが、ふつと足をのびして、一人校庭に佇んでみたことがあります。高校総体出場、成績優秀なことが見てとれました。ジイー

ジイーというセミの声に包まれて緑のカーテン(朝顔か? つた類か?)を風が揺らした瞬間、タイムスリップしたようでした。記憶の海より浮上する、友の笑顔、元気な声。休み時間に好きなパンを買いに走った廊下、体育教官室からにらまれたような記憶、古くても愛着のある部室。ふざけ合ってたけど、頑張った校内行事等、何一つとつてもかけがえの無い輝く宝物なのです。

幸せ者の私達は、館女の伝統に守られ、大勢の先生方のご指導のもと、良き仲間達と手を携えて、館女百歳を全身全霊で御祝いさせていただきます。たいものです。同窓会スタッフの皆々様のたゆまぬ努力の結果が、更に伝統を豊かに発展させて行きます。その御力に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。



「利根の河原」 齋藤英一先生作

文化祭「友誼祭」へのご案内 作品募集のお願い

今年は、3年に一度の文化祭の年です。創立100周年を記念しての100年に一度の文化祭、同窓会としましても同窓生のお力をお借りして素晴らしいものになるよう努力いたします。どうぞご協力をよろしく申し上げます。

1. 日時: 平成29年7月7日(金)~8日(土)
8日(土) 一般公開予定
2. 会場: 館林女子高校 大会議室 (本館2階東側)
3. 内容: 同窓生作品の展示及び母校の思い出の写真展示
4. 作品募集: 絵画・工芸品・手芸品・書・生け花・その他自作品
5. 募集期間: 6月3日(土)~6月26日(月)
6. 申込方法: 学校事務局へご連絡ください。
申し込まれた方には、後日、詳細をご連絡します。
7. 申込み・問合せ: 館林女子高校内 同窓会事務局
同窓会係 (島田、泉)
電話 0276-72-0139
FAX 0276-72-7112

〔お詫びと訂正〕
平成二十八年度の同窓会報四頁掲載の総会の記事に寄稿して下さいました櫻井様のお写真が、他の方と入れ替わってしまいました。ご迷惑をおかけしました。このような事が起こらぬよう充分注意致します。深くお詫び申し上げます。

事務局

転退任・新任職員の紹介 (敬称略)

〔退職者・転出者〕

金子 弘幸 (校長)	退職
二ノ宮和良 (地公)	退職
小暮理恵子 (保体)	退職
長谷川 充 (教頭)	伊勢崎工業高校
島田 聡 (音楽)	群馬県教育委員会
香林 陽平 (地公)	板倉高校
金井 優 (英語)	藤岡中央高校
田村 友梨 (国語)	前橋女子高校
市川富美子 (養護)	太田工業高校
浦野 和美 (主幹/総括)	館林特別支援学校
井上 要子 (司書)	太田高校

〔転入者・新採用者〕

高橋 博 (校長)	板倉高校
中島 洋明 (教頭)	伊勢崎商業高校
對比地万里子 (英語)	大泉高校
中井 健太 (地公)	桐生南高校
坂本 将 (音楽)	長野原高校
加藤 智子 (国語)	新採用
古澤 咲希 (養護)	新採用
石井 伶奈 (主事)	新採用
西田 彩音 (司書)	新採用
二ノ宮和良 (地公/再任用)	本校教諭より
中溝 貴善 (保体/地公臨)	新規
角田佐知子 (英語/産休補)	新規
松浦 健治 (情報/非常勤)	新規

創立100周年
開校記念式典及び
記念演奏会
のお知らせ

1. 期日 平成29年11月17日 (金)
2. 会場 館林市文化会館大ホール
3. 式典 13時半から (予定)
4. 演奏会 野坂 操壽氏 箏奏者
沢井 一恵氏 箏奏者
榊川 千明氏 マンドリン奏者
(本校卒業生)
5. 問合せ先 館林女子高等学校 同窓会係
TEL 0276-72-0139
6. その他

本校同窓生の方で、記念式典に出席を希望される方は学校事務局までお問い合わせください。ただし、会場の都合により期間内でもお断りする場合がありますことをご了承ください。

【受付期間 6月3日～9月末】

編集後記

緑の鮮やかな季節です。同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年も、創立百周年を記念して様々な行事が予定されています。

四月には、会員名簿が発行され、ご希望された同窓生のお手元へ届けられたと思います。表題を同窓生で書道家の佐藤みち子さんに揮毫して頂きました。また、美術講師の大隅孝夫先生に館女中庭の風景を描いて頂きました。百周年に相応しい名簿に仕上がりました。

ました。同窓生の皆様の絆をより一層深める一助となると確信しています。

七月には、友誼祭が開催されます。同窓会も会員の作品展示に加え、館女の思い出を振り返ることができるようなものやとを考え、百年の歩みを写真パネルにして、来場者の方に見て頂こうと計画しています。

十一月には、創立百周年記念式典及び演奏会が開催されます。また、館女百周年史が年度末に刊行されます。百年の歴史をまとめた集大成とな

ります。

この記念の年に、皆様と同窓会報をお届けすることができましたこと、同窓生のおかげ添えがあったからと感謝しております。次の年へと繋げられるよう努力を続けたいと、改めて思いました。

(記 島田)



「シャクナゲの花」
齋藤英一先生作

平成29年度入試の合格校等一覧(過年度卒を含む)

【四年制大学】

(国公立大学)

学校名等	分類	合格者数
信州	国大	1
群馬県立県民健康科学	公大	5
群馬県立女子	公大	3
高崎経済	公大	1
国立大学計		10

(私立大学)

学校名等	分類	合格者数
共愛学園前橋国際	私大	2
桐生	私大	10
群馬パース	私大	6
上武	私大	1
高崎健康福祉	私大	8
東京福祉	私大	5
酪農学園	私大	2
奥羽	私大	1
流通経済	私大	1
足利工業	私大	5
国際医療福祉	私大	1
獨協医科	私大	4
白鷗	私大	6
跡見学園女子	私大	1
浦和	私大	6
共栄	私大	7
十文字学園女子	私大	1
城西	私大	1
女子栄養	私大	1
西武文理	私大	1
東都医療	私大	7
獨協	私大	12
日本薬科	私大	4
人間総合科学	私大	2
文教	私大	11
文京学院	私大	1
明海	私大	1
聖徳	私大	2
千葉科学	私大	1
帝京平成	私大	1
麗澤	私大	2
和洋女子	私大	2
大妻女子	私大	5
共立女子	私大	2
駒澤	私大	1
駒沢女子	私大	2
実践女子	私大	2
昭和	私大	1
昭和女子	私大	2
成蹊	私大	3
清泉女子	私大	1
大正	私大	1
大東文化	私大	6

学校名等	分類	合格者数
拓殖	私大	1
帝京	私大	1
東京医科	私大	1
東京医療学院	私大	1
東京音楽	私大	1
東京家政	私大	2
東京工科	私大	1
東京工芸	私大	1
東京女子	私大	1
東京女子体育	私大	1
東京未来	私大	3
東洋	私大	3
日本	私大	2
日本女子	私大	3
日本体育	私大	1
文化学園	私大	4
武蔵	私大	2
武蔵野音楽	私大	1
目白	私大	5
立教	私大	1
立正	私大	8
神奈川工科	私大	1
相模女子	私大	2
松蔭	私大	1
横浜薬科	私大	1
帝京科学	私大	2
私立大学計		193
四年制大学計		203

【短期大学】

学校名等	分類	合格者数
育英短大	私短大	1
桐生大短大部	私短大	1
東京福祉大短大部	私短大	2
足利短大	私短大	4
國學院大栃木短大	私短大	5
佐野短大	私短大	2
埼玉純真短大	私短大	1
女子栄養短大	私短大	1
青山学院女子短大	私短大	1
大妻女子大短大部	私短大	2
共立女子短大	私短大	1
実践女子短大	私短大	1
創価女子短大	私短大	1
戸板女子短大	私短大	1
京都嵯峨芸術短大	私短大	1
短期大学計		25

【専修各種学校】

学校名等	分類	合格者数
太田高等看護学院	専門	3
館林高等看護学院	専門	12
東群馬看護専門学校	専門	3
太田医療技術専門学校	専門	6
伊勢崎美容専門学校	専門	1
太田動物専門学校	専門	3
太田産業技術専門学校	専門	1
太田情報商科専門学校	専門	1
群馬愛犬美容学院	専門	1
高崎動物専門学校	専門	1
中央医療歯科専門学校	専門	7
東日本製菓技術専門学校	専門	1
東日本栄養医療専門学校	専門	1
足利デザインビューティ専門学校	専門	1
獨協医科大学附属看護専門学校	専門	3
マロニエ医療福祉専門学校	専門	1
大宮スイーツ&カフェ専門学校	専門	1
大宮ビューティアート専門学校	専門	3
久喜看護専門学校	専門	1
青山ビューティーカレッジ専門学校	専門	1
大原医療秘書福祉専門学校大宮校	専門	1
大原簿記情報ビジネス専門学校大宮校	専門	1
尚美ミュージックカレッジ	専門	1
東京医療秘書福祉専門学校	専門	1
東京カデリング&アライグマ専門学校	専門	1
東京工学院専門学校	専門	1
日本外国語専門学校	専門	6
専修各種学校計		64

【就職】

企業名	分類	就職者数
ニプロ医工株式会社	就職	2
慶友整形外科病院	就職	1
就職計		3

